

熊野古道 (小辺路--果無越え)



(ハイライトシーン) [※実施日--2026年02月24日(火)]

※弥生班 計8名

① (八木尾から蕨尾までバス移動)



② (登山口で登山届の投函)



④ (果無集落)



③ (整備された登山道)



⑤ (果無集落--世界遺産の記念碑)



⑨ (熊野川を見下ろし下山)



⑥ (山口茶屋跡)



⑦ (果無観音堂)



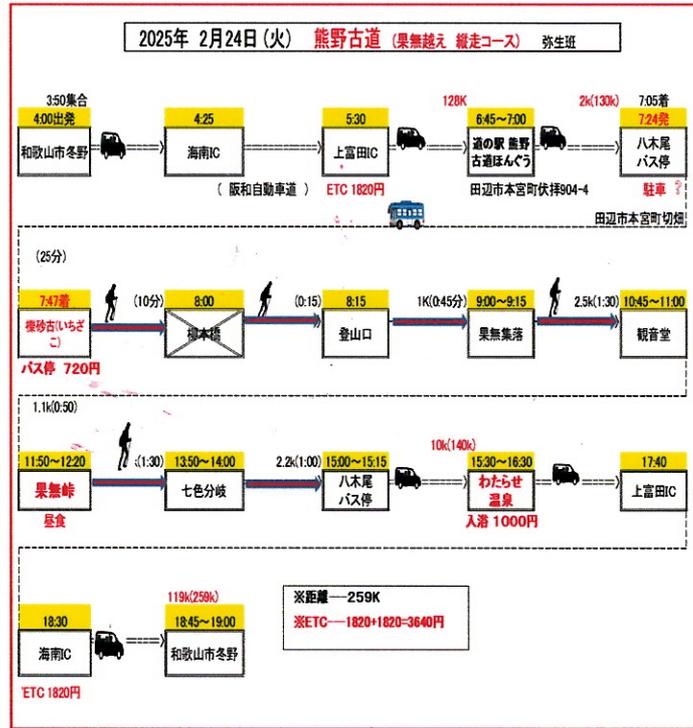
⑧ (果無峠)



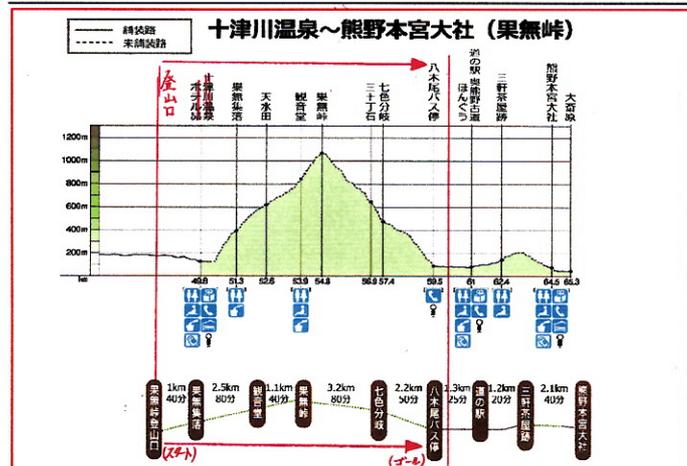
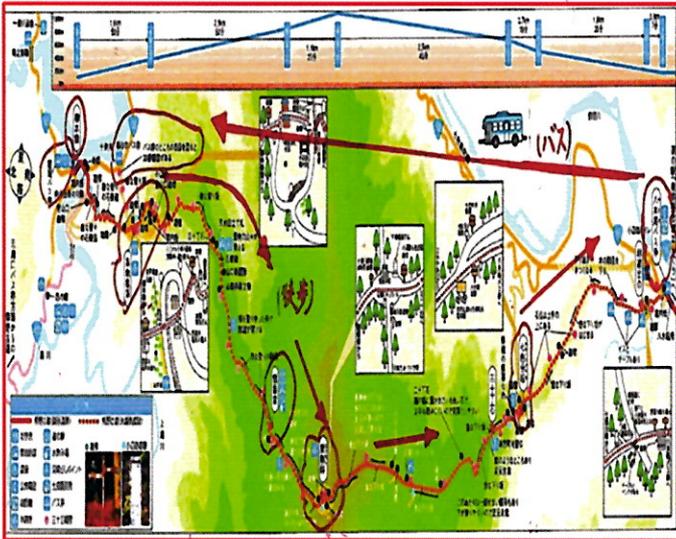
熊野古道 (果無越え)

※(山行日) ---- 2026年2月24日(火)

※(行程) [予定]



(果無山脈のロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計 8名

木村、中濱、八木、新延、河原、
五所尾、大森、有本、

※[はじめに]

(熊野古道)

○熊野古道には、「中辺路」「伊勢路」「小辺路」「紀伊路」「大辺路」の5つのルートが存在。

・中辺路 (なかへち)

田辺から熊野本宮大社へと向かうルート。山中を分け入るこの路は、後鳥羽天皇や藤原定家、和泉式部もこの路を歩んだといわれている。

・伊勢路 (いせじ)

伊勢神宮からはじまり、熊野三山それぞれの大社へと向かうルート。

・小辺路 (こへち)

高野山と熊野本宮大社をつなぐ、およそ70kmの参詣道。高野山の奥から山脈を縦断し、難易度の高いルート。

・紀伊路 (きいじ)

京都の城南宮を起点に大阪府堺市や紀伊田辺を経由して熊野三山へと繋がるルート。

・大辺路 (おおへち)

和歌山県田辺市を海沿いに南下する那智勝浦町経由のルート。

(熊野古道5ルートのロードマップ)



(果無山脈)

- 果無山脈は、紀伊半島の中央部に位置する和歌山県と奈良県の県境沿いに位置する山脈。
- 果無山脈の山々は、最高地点でも1000mをわずかに超える程度であるが、果無という名が生じたのは、行けども行けども果てなく山道が続く様子からであると言われている。
- 果無集落は、世界遺産に登録された熊野参詣道「小辺路」沿いにある小さな集落で、果無山脈を見渡せる高地のため「**天空の郷**」と呼ばれ、[にほんの里100選](#)にも選ばれています。

※[計画の目的]

- ・「熊野古道小辺路果無越えの巡礼の道」と温泉で癒しを楽しむ。

(写真3)

(バスで移動)



- ・7時24分、バスに乗車。
八木尾から蕨尾まで移動。

(写真1)

(準備体操)



- ・道の駅で時間調整し現地の駐車場8時到着。
本日の行程周知の後、恒例の準備体操で気が引き締まる。

(写真4)

(登山口---その1)



- ・8時15分、山行開始

(写真2)

(八木尾バス停)



- ・当日の朝は冷たかったが-----

(写真5)

(登山口---その2)



- ・登山届を投函

(写真6)

(急登-その1)



・苔の生えた石畳を進む。

(写真9)

(果無集落---その2)



・世界遺産の記念碑の前で---
360度の景観が楽しめる。

(写真7)

(急登-その2)



・パワースポットを感じながら---

(写真10)

(山口茶屋跡)



(写真8)

(果無集落---その1)



・視かな風景の果無集落。

山口茶屋跡

「熊野めぐり」に「四十丁目茶屋あり」、「熊野案内記」に「やなぎ本より壱里上り、山口茶屋一軒有り」と記されている茶屋跡である。

東西には、石垣が残っており、東側に屋敷林の杉の巨木が数本あり防風林と思われる。この近くには、石造地藏菩薩立像や第二十四番中山寺十一面観世音菩薩像が道中を見守ってくれている。

十津川村教育委員会

・巡礼の道の歴史を感じる瞬間-----

(写真 11)

(果無観音堂)



果無観音堂

堂内には、中央が石造丸彫り聖観世音菩薩座像、左が舟形光背石造半肉彫り十一面千手観世音菩薩立像、右が火焰後背をもつ石造肉厚彫不動明王座像が祀られている。この付近には、通行の安全を祈願したものか、古くから観世音菩薩が祀られていたようである。

毎年旧暦の三月十八日を祭日として大字で供養を続けており、田辺市本宮町あたりからも参詣に登山されるという。

十津川村教育委員会

(写真 12)

(果無峠)



- 11時30分、果無峠に到着。
ここで昼食休憩。

(写真 13)

(下山)



- 熊野川を見下ろす。

※[最後に] (トラブル)

- 下山時、メンバーの1人が足をつまづいて前に転倒。顔面を強打し右オデコにこぶができ冷やすも、その後異常はなかった

(感想)

- 現地でバス移動の計画のため、和歌山を早い目に出発し、道の駅で時間調整をしました。当日の朝は冷たかったが、登山口を出発して15分位で汗がでる陽気な天気となった。
- メンバーのほとんどが、このコースを経験しており、余裕のあるマイペースで計画通り進むことができました。
- 天気は良いものの、花粉？黄砂？等、春霞で遠くの景色はぼやけていましたが、視かな果無集落では360度の展望が開け、石畳の小辺路ルートはパワースポットに触れ癒しを感じ、清々しい気分を味わいました。
- 帰路ではわたらせ温泉で入浴し、色々と満喫した旅ができました。